

(件名) スポーツ・コンベンションセンターについて

(陳情の趣旨)

私たちSCC(スポーツ・コミュニケーション・サークル)は、2000年活動開始以来、20年以上に渡り、総合型地域スポーツクラブとして、①三世代が通えて、生活を豊かにするクラブ(多世代)、②地域の人たちが、みんな知っていて、つないでいけるクラブ(公共性)、③100年、200年続くために変化、挑戦できるクラブ(永続性)を経営理念に、陸上競技、幼児体操、健康体操、スポーツ指導者派遣、スポーツイベント開催など、地域に根付いたスポーツ活動に取り組んで参りました。

子ども・大人・高齢者等みんなが楽しめるスポーツ、世代を超えスポーツを通し豊かな人生を送る、それぞれのライフスタイルに沿ったスポーツ、そういった大きな裾野の中から日本を代表するようなトップアスリートも育つ、そういう目標を持ち、これからも元気一杯活動を広げていきたいと思えます。

今般、報道等で取り上げられている、ドルフィンポート跡地を整備予定地とした県の新たな体育館であるスポーツ・コンベンションセンターについては、本年3月31日に基本構想を策定され、現在、具体的な検討が進められていることと思えます。

そもそもの検討を始められたきっかけである現在の県体育館・武道館については、外壁のひび割れや屋根材の剥離・サビ、雨漏りなどが見られ、数年前には地震があった際に、体育館の屋根材が落下しかけることもありました。耐震性には問題ないとのことで、補修をしていただきながら使用はできているものの、多くの利用者が安心して快適にスポーツなどに親しめる場を確保するために、早急に新たな体育館の整備が必要と考えます。

また、県内には、国際大会などの開催が可能な施設がないため、国際大会などを県内で直接見る機会を設けることができない現状があるとともに、大規模なコンサートやイベントは九州では福岡に行かないと体験できない現状があります。

国際大会やコンサートなどで身近に一流の選手・アーティストを見れる機会を設けることは、子供たちに夢と希望、感動を与えることができると考えます。

このため、新たな体育館については、これまで県内で開催できなかった国際大会やコンサートが開催できるような規模が必要と考えます。

さらに、離島や大隅地域を始め、県内全域からの交通アクセスが良いドルフィンポート跡地と住吉町15番街区にスポーツ・コンベンションセンターが整備されることは、県内各地から県民が各競技大会やスポーツイベントにも参加しやすくなるとともに、周辺に宿泊・商業の施設が数多くあることから、地域に賑わいが生まれると考えます。

最後に、基本構想で記載し、検討することとしている屋外における県民の健康増進サービス機能や、散歩・ランニングコースやニュースポーツへ対応することで、あらゆる世代がスポーツ・健康増進の活動が行えると考えます。また、展望スペースについて、県民や観光客を始め、全ての人々が等しく桜島や錦江湾の景観を楽しむようにすることは、鹿児島県の魅力を発信できる機会であるとともに、地元の子供も達を始め、県内の子供も達も、スポーツ・コンベンションセンターで行われるイベント・競技大会の際に、改めて郷土の良さを体感し、誇りに思えるような機会になると考えます。

記

- 1 スポーツ・コンベンションセンターの早期整備に向けた取組を確実に進めること。
- 2 子どもたちが、一流のスポーツ選手やアーティストを見ることができるよう、国際大会やコンサートなどが開催できる規模の施設として検討すること。
- 3 離島を始め県内全域からの交通アクセスが良い、現在の整備予定地で整備を進めること。
- 4 屋外における県民の健康増進サービス機能や、散歩・ランニングコースやニュースポーツへの対応については、スポーツ・コンベンションセンター内で行われるイベント時以外でも、多くの利用者が考えられることから、今後、多くの関係者の意見を聞きながら検討すること。